

競技注意事項

- 本大会は、2024年度日本陸上競技連盟競技規則および大会申し合わせ事項に準じて行われる。
- 競技者招集方法について
 - 招集場所は、本競技場雨天走路内に設ける。
 - 欠場者は、招集開始時刻30分前までに、招集所に示されたエントリー表に「×」をつけ欠場の意思を示すこと。**無断で欠場した場合は、次の参加種目には参加できなくなる場合がある。**
 - 招集はプログラム記載の時刻とする。時間内に招集場所で最終点呼を受けること。いない場合は、欠場とみなす。
 - リレーのオーダー用紙の提出時刻は、第1組の招集完了時刻1時間前までに招集所に提出すること。オーダー提出後の変更は認めない。変更する際は医師の証明が必要になる。
また、リレーを欠場する場合は招集所に申し出ること。統一ユニフォームが間に合わなくて、違うユニフォームによる参加の場合は、招集所に申し出ること。
- アスリートビブスについて
 - アスリートビブスは、プログラム記載の番号を胸・背部につけ、トラック種目に出場する競技者は右腰部にも付けること。なお、跳躍競技の競技者は背または胸部のどちらか一方でもよい。中学生は胸・背部はプログラム記載のナンバーと腰は自校で準備したレーンナンバーを付ける。他の選手と同一番号がある場合は、レーンナンバーを採用する。
 - レーンナンバー使用については下記の種目で実施する。**招集開始前に招集所に取りに来ること。**
3点・・・1500m以上の中長距離種目（競歩含む）
腰のみ・・・100m決勝、800m、1600mRアンカー（予選・決勝）
- トラック競技のレーン順、フィールド競技の試技順は、プログラム記載順による。
- 10000mは男女同時スタートで実施する。
1500m以上の種目は参加人数にかかわらずタイムレースとする。
- 棒高跳・走高跳のバーの上げ方は、下記の通りとする。（ただし、天候等で変更もあり得る。）

走高跳

区分	練習	1	2	3	4	5	6	7	以後、以下の様にあげる
男子	1.60	1.65	1.70	1.75	1.80	1.84	1.88	1.92	男子は3cmずつ
女子	1.35	1.40	1.45	1.50	1.54	1.58	1.61	1.64	女子は2cmずつ

棒高跳

区分	練習	1	2	3	4	5	6	以後10cm
男子	2.80,3.50,4.00	3.00	3.20	3.40	3.60	3.80	3.90	ずつあげる
女子	1.60,2.50	1.80	2.00	2.20	2.40	2.50	2.60	

〈*三段跳びの踏切線は砂場より男子12mとし、女子は9mとするを基準とする。〉

フィールド種目は参加人数により計測ラインを設けることもある。その場合は大会時に案内する。

- 競技用具は競技場備えている用具を使用するが、用具がない場合は検定後、借り上げとする。
- 本大会で8位までの入賞者は第68回北陸陸上競技選手権大会の出場権を与える。
表彰式は行わないが1位～3位までに賞状とメダルを授与するのでロビーへ取りに来ること。
- その他
 - スパイクのピンは、トラック競技は9mm以下、フィールド競技は12mm以下とする。
(競技場保護のため、先の尖ったピンの使用を極力控えること。)
 - 競技中に発生した傷害については、応急処置のみ主催者側で行うが、その後の責任は負わない。
 - 競技場内に商品名のついた衣類、バックを持ち込む場合は日本陸連ルールブック「競技会における広告物及び展示物に関する規定」に従うこと。
 - 腕時計型通信機器、ビデオ装置、ICレコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話などの再生・通信機能のついた機器を競技エリア内で使用することは助力となる。最終点呼を受けた後は、使用しないこと。(警告・失格の対象となる。)
 - 県外登録者の競技参加はオープン参加とする。リレーについては、申込メンバーの中に県外登録者が1名でもいれば**リレーカーニバル**の参加とする。リレーカーニバルに参加チームはオープン扱いとする。
 - 男女5000m競歩は制限時間を設ける。(男子30分・女子35分を超えて次の周回に入らない)
 - スパイク・シューズについては競技規則TR5を適用し、靴底厚は問題がある場合は検査する。

